

😊家読（うちどく）はじめてみませんか？😊

【小学生高学年向け】

♣保護者の皆様へ♣

第4号（令和6年4月発行）芦別市立図書館

◆読書からはじまる、楽しい発見◆

春になり1学年上がりました。またクラス替えがあるなど、今までとは違って張り切っている子が多いのではないのでしょうか。一方では年齢が上がるにつれて、勉強も難しくなりわからないことも増えてきます。机に向かって勉強する習慣をつけるのは大変ですが、好きな事なら長時間でも続けることができます。得意なことがたくさんあると、自信が付き、色々なことに積極的になれる。本を読むと、視野が広がり、色々な世界が見えてきて、新しい発見につながります。本を読む時間が増えるような工夫をしてみたいかがでしょう。

「本を読むきっかけを作る」



★ すきま時間の活用 ★

本の好きな人は、読みたい本をストックしています。気になった本をメモしたり、購入して持っています。乗り物に乗っている時や、待ち時間などに読んでいる人を良く見かけます。大人は電子書籍を利用している人もいますが、子どもは本の方が利用しやすいと思われます。お出かけの時、1冊カバンに入れておくと、いつでも読むことができます。

★ 教科書に載っている作品 ★

新しい教科書をもらうととてもうれしいものです。国語の教科書では絵本や児童書の作品が多く使われています。教科書には作品の一部だけが掲載されている場合が多く、また原作と絵が異なっていることがあります。映画と同じで、原作本はとても面白いので、ぜひ読んでみてください。

★ 人気の本は面白い ★

2月に、全国の小学生が選んだ〈こどもの本総選挙〉が発表され新聞に載りました。1位「りんごかもしれない」、2位「ざんねんないきもの事典」、3位「大ピンチずかん」…。子どもと一緒に、図書館で探してみてください。また、〈北海道青少年のための200冊〉など、おすすめ本の紹介は色々あります。面白い本がきっと見つかりますよ。

★ いつも本がある ★

学校で朝の読書を行うようになってから、不読率（1か月で1冊も本を読まない）が下がりました。集団で本を読む時間を作ったことで、読書量が増えた結果です。図書館では各クラスに毎月40冊の本を貸し出しています。面白い本があると話題になり、多くの子が読むということにもつながります。本を読むことによって読解力がついてくると、読書がどんどん好きになります。



小学校高学年向け おすすめ本のリスト

家読通信 No.4

4年生におすすめの本

ぼくはやってない



「チョコレート戦争」

作：大石真

出版社：理論社

なかよしになる方法



「なかよし取扱説明書」(犬式)

作・絵：きたやまようこ

出版社：理論社

未来について考えよう

世界でおきている事件や問題について考えてみませんか？環境破壊や自然災害・戦争や貧困など不安なことがたくさんあります。未来を良くするために、生活を見直し、問題を解決していかなければなりません。幸せな未来のために、できることを考えてみましょう！

SDGS について知ろう

「ランドセルは海を越えて」

写真・文：内堀タケシ（ポプラ社）

戦争で、学校に通えない子どもたちがいるアフガニスタンにランドセルをとどけよう！

「ゾウの森とポテトチップス」

写真・文：横塚眞己人（そうえん社）

ポテトチップスやシャンプーや洗ざい…。これらがゾウたちの命をおびやかしているって、ほんと？

「フードバンクどろぼうをつかまえる！」

作：オンジャリ Q、ラウフ（あすなる書房）

おなかをすかせた人たちを救ってきたフードバンク（食べ物銀行）がねらわれている！

「風の島へようこそ」

作：アラン・ドラモンド（福音館書店）

デンマークの小さな島で、てい電をきっかけに、自分たちでエネルギーを作り出す計画がはじまった。

「しまのないトラ」 作：齊藤 洋（偕成社）

体にしまのないトラや、足のあるヘビなど、なかまとは少しちがっていても、アイデアと努力とゆう気で自分らしい生き方を見つけるお話。



5年生におすすめの本

ふしぎがいっぱい



「ふしぎの時間割」

作：岡田淳

出版社：偕成社

ゆう気と知恵を持って



「マチルダはちいさな大天才」

作：ロアルド・ダール

出版社：評論社

6年生におすすめの本

航空機事故をなくせ



「Mr.トルネード」

作：佐々木健一

出版社：小学館

バトル開始！



「メランコリー・サガ」

作：ひこ田中

出版社：福音館書店